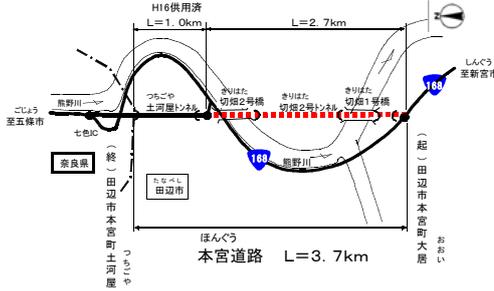


再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担 当 課：国道・防災課

担当課長名：深澤 淳志

事業名 地域高規格道路 五條新宮道路 一般国道168号 本宮道路	事業区分 一般国道	事業主体 和歌山県
起終点 自：和歌山県田辺市本宮町大居 至：和歌山県田辺市本宮町土河屋	延長 3.7 km	
事業概要 五條新宮道路（一般国道168号）は、和歌山県新宮市を起点とし、奈良県五條市に至る延長130kmの地域高規格道路である。本宮道路は、一般国道168号の幅員狭小区間及び線形不良区間、異常気象時通行規制区間を解消し、安全で円滑な交通の確保を目的とした、延長3.7kmの2車線道路である。		
H11年度事業化	都市計画決定なし	H12年度用地着手
H12年度工事着手		H12年度工事着手
全体事業費	120億円	事業進捗率
66%		供用済延長
1.0km		
計画交通量 3500台/日		
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.8 (残事業) 4.6	総費用 (残事業/事業全体) 39/134億円 (事業費: 37/131億円) (維持管理費: 2.4/3.3億円)
総便益 (残事業/事業全体) 179/237億円 (走行時間短縮便益: 170/226億円) (走行経費減少便益: 6.9/8.8億円) (交通事故減少便益: 1.8/2.7億円)		基準年 平成20年度
感度分析の結果 (残事業を対象) 交通量変動 : B/C=4.6 (交通量+10%) B/C=3.7 (交通量-10%) 事業費変動 : B/C=3.8 (事業費+10%) B/C=4.6 (事業費-10%) 事業期間変動 : B/C=3.9 (事業期間+2年) B/C=4.4 (事業期間-2年)		
事業の効果等 ・個性ある地域の形成（主要な観光地（世界遺産・本宮地域）へのアクセス向上が期待される） ・災害への備え（第3次地震防災緊急事業五カ年計画において第1次緊急輸送道路に指定） 他6項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 国道168号（五條・新宮間）整備促進協議会より、当該路線の整備促進・早期完成の要望を受けている。（平成20年10月）		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 平成16年に熊野・本宮地域が世界遺産登録され、将来交通量が増加することが予想され、本事業により得られる効果は大きくなっている。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地取得は完了しており、奈良県との県境部土河屋トンネルを含む延長1kmは供用済みである。残区間（2.7km）については引き続き改良工事を推進する。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 用地取得は完了しており、残区間（2.7km）の工事推進を図り早期完成を目指す。		
施設の構造や工法の変更等 施工にあたっては、周辺環境の保全とともに、新技術の積極的な活用、建設発生土の有効活用等、コスト縮減に努める。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性・重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図		
		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。